

障害児差別語NO授業で

「ガイジ」子どもにも広がる

障害児を短く表現する差別的な「ガイジ」という言葉が子どもたちの間で広まっている。日常的に差別語を使うのは見過ごせないと、福岡市教委がこの春、教員用の手引を作った。道徳の授業で取り上げ、人を傷つける「使えない言葉」だと気づかせる狙い。全国でも珍しい取り組みだ。

福岡市教委

安易な使用に危機感

福岡市教委は昨秋、この言葉を明示して、知っているか、どこで知ったかなどを児童生徒にアンケートした。小学校では40〜80%、

中学校では90%以上が知っていた。市教委へは昨年度、42件の発言報告があり、派生語まで出てきた。市教委は「人権教育に力を入れてきたのに、基本的な考え方が身につけていない」と受け止めた。使う相手は障害のある子とは限らない。障害児を指

すと知らないまま、相手をおとしめる時に使う例が多いという。市教委は、差別性に気づかないまま子どもたちに広まっていることを重くみて、「なぜ使ってはいけないのか」を考えさせる手引をめざした。

「人権教育指導の手引き」の改訂で9ページをあて、4月に市立の全233校に配った。小学3〜6年の指導を想定し、友達がこの言葉を使う場面を目にした子が心を痛めた文章などを読ませ、障害のある人を自分

自分卑下する使い方も

子どもたちに聞いた。「みんな普通に使っている」と、福岡市南区に住む小学6年の男子(11)。例えば、友達が転んだ時、その子に「お前、ガイジや」とからかう。福岡市東区の高校1年の男子(15)はミスをした自分を指して、友人に「今のはガイジ入ってたわ」と言う。「『おれってバカだよなあ』と同じ使い方をしている感じ」。障害児の蔑称だとは知っている。「障害児をバカにしてるわけじゃない。友達にバカとかアホとか、つつこみを入れる言葉。みんな使っている」

考え、自分たちの行動を振り返らせることが大切だ」と説明する。ある中学校長は「現場では禁句指導になりがちだ。心情に訴える必要があり、授業案ができることは大きい」と話す。差別語の研究や教員らによると、この言葉は関西や九州北部など西日本で使用例が多そうだ。奈良県人権教育推進協議会の大寺和男会長は「20年前ぐらいから聞く」と言う。

逮捕の速 強姦致す

長崎

同僚の女性性器に侵入し、強姦致す。長崎県警大井町交番で、侵入容疑で現れた長崎県警大井町交番長岡田章幸(47)について、県警は、岡田容疑者を認めて、捜査1課に送る。容疑者は25日、大村市内で、住人で大井町(27)の室内に、た女性に襲い、3週間のけががある。女性110番した



イラスト：若泉 祥子 / The Asahi Shimbun

想像力働かせて

障害者より良い暮らしネットの服部美江子代表の話 障害のある人がどれだけ傷つくか想像力を働かせてほしい。特別支援学級が増え、障害のある子と接する機会が増えたことが、背景にあるかもしれない。だとすれば、障害のある人もない人も共に生きる社会への過渡期とも言える。これを一つのきっかけに障害のある人への理解を深め、本当のよい関係が築ければと思う。

大人社会を反映

重い病気や障害のある子に向けた活動をする市民団体haleの森山弘幸さんの話 子どもが使う言葉は大人の社会を反映している。今の社会が障害のある人を排除していることに根本の原因があるのではないか。現場の先生には、「障害児にそういった言葉を使わないでね」など、ことさら「障害児」とくくったり、障害のある人とない人を区別したりするような教え方はしてほしくない。

(山下知子)

もし、お金が戻ったら?

俵約しても一向にお金がたまらない
それなら払い過ぎの利息を返してもらった?
そんなの私には関係ないのでは?